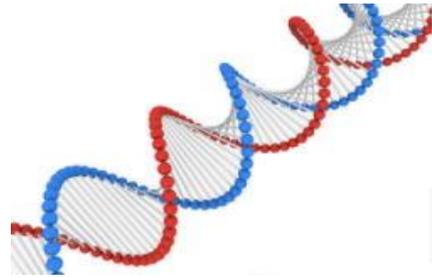


# がんゲノム医療



## I. がんゲノム医療とは

がんは遺伝子の変異が積み重なって起こる病気であり、どのような遺伝子にどのような変化が起きているかでその性質が異なります。がんゲノム医療とは 患者さん一人一人の遺伝子情報（ゲノム）に基づき、より適した治療薬を選択する次世代のがん個別化治療のひとつです。

## II. がんゲノム医療連携病院

がんゲノム医療は、がんゲノム医療中核病院（全国 12 か所）を中心に、がんゲノム医療拠点病院（全国 33 か所）、がんゲノム医療連携病院（全国 181 か所）が連携して行われます（2021 年 8 月現在）。岐阜県総合医療センターも厚生労働省からがんゲノム医療連携病院に指定され、中核病院である名古屋大学医学部附属病院と連携してがんゲノム医療を行っています。

## III. がん遺伝子パネル検査

当院では、保険資料で認められた 3 種類の遺伝子パネル検査を実施しています。

### OncoGuide™NCC オンコパネルシステム

- がんに関連した 124 の遺伝子を、がん組織と血液の療法で調べます。
- 血液検査で遺伝性腫瘍に関連した遺伝子の異常がわかることがあります。

### Foundation One CDX がんゲノムファイル

- がんに関連した 324 の遺伝子を解析対象とします。この検査では手術や生検で採取された腫瘍検体のみを使用します。

### Foundation One Liquid CDX がんゲノムファイル

- がんに関連した 324 の遺伝子を解析対象とします。この検査では血液のみを使用します。

## IV. 対象なる患者さん

対象となる患者さんは以下のとおりです。

- 標準治療がないがんの方（稀少がんなど）
- 現在がんの治療を行っているが標準治療の効果が乏しい方
- 化学療法に耐えうる全身状態が保たれている方

## V. 検査の流れ

診療科医師（主治医）に  
がん遺伝子パネル検査について相談し実施を決定



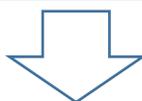
検査の説明・同意書の記入

検査の概要・効果などの説明を受け同意書にサインします



検体の選択

手術や診断目的で採取したがん組織から最も適したものを選ぶ  
(血液採取をする場合もあります)



エキスパートパネル（専門家会議）

がんや遺伝子検査などの専門家で構成される検討会で

**検査結果から最適な治療を検討します**



検査結果の説明

担当医から検査結果の説明を実施  
必要に応じて遺伝子カウンセリングを実施



治療方針の決定

**担当医と相談して治療方針を決定する**

## VI. 遺伝子パネル検査の注意点

- 遺伝子検査結果にもとづく治療パネル検査を行い遺伝子変異が見つかったとしても、新たな治療方法に結びつくのは、最終的には約 10%程度です。
- 二次的所見（遺伝性がんなどの発見）  
多数の遺伝子を調べるため、がんが遺伝する可能性がある遺伝子をもっていることがわかる場合があります。この場合将来がんになりやすいという不安や、家族についての不安が生じる可能性があります。ご希望により本来調べたいがん以外の情報は聞かないこともできます。ご心配なことがあれば、遺伝カウンセリングをうけることもできます。

## VII. 検査費用

検査申請時：80,000 円（3 割負担 24,000 円）

検査結果説明時：48,000 円（3 割負担 144,000 円）

保険診療で行われ、高額療養制度による給付対象となります。

## VIII. 問い合わせ先

岐阜県総合医療センター がん相談支援センター

受付時間：月曜日～金曜日（8:30～17:15）

TEL 058-246-1111 E-mail gansien@gifu-hp.jp